



地域の安全安心をサポートする 交通指導隊隊長

狩野 龍一 さん



PROFILE

かの りゅういち(本町・52)
市交通指導隊隊長。
「自らが知ることから始める」
を信念にひた向きに活動中。

交通指導隊への思い

地域の交通安全リーダーとして活動をしている市交通指導隊。今年の4月から新たに狩野龍一さんが隊長に就任した。1、2年目の隊員が多い中、今年で14年目を迎える大ベテランだ。

入隊当初は長く務めるつもりはなかったという。活動を重ねるうちに「交通指導員という立場で市民の交通安全への意識向上に取り組み続けたい」という思いが強くなっていった。

また、入隊2年目に旧浜岡町と旧御前崎町が合併し、交通指導隊も一つになった。合併当初は旧町単位の交通指導隊ごとで考え方や方針に違いがあったため、交通指導隊が一つにならないと地域の安全は守れないという思いがあった。

交通事故を減らしたい

「交通事故は運転技術よりも意識の問題で起きることが多い。まずは余裕を持って行動してほしい。また、運転手は横断歩道を渡ろうとする歩行者がいたら止まるなど、第

三者への思いやりを持つことも大切。歩行者も夜の外出時は、運転手から見えやすい格好をするなど、お互いの思いやりが交通事故減少につながる。交通事故は、被害者も加害者も不幸にする。1件でも事故を減らしていきたい」と狩野さんは話してくれた。

つながりを大切に

隊員には、市民に交通指導隊の活動や思いを知ってもらえるよう、地域活動への積極的な参加を勧めている。狩野さんは活動する上で、隊長や隊員同士はもちろん、地域とのつながりを大切にしているからだ。

「地域の行事に交通指導員が積極的に参加することによって、交通指導隊の活動を理解してもらえることができれば活動の幅が広がる」と期待を込める。災害時などにも周りとの協力し合うことができるといえるのではないかと考えている。

広い視野を持ち、市の安全安心を支えている狩野さん。周りとのつながりを大切にする姿勢は「組織のリーダー」の理想の姿ではないか。